

MostGraph-01 の紹介

当院の生理機能検査室では、平成27年1月からMostGraph-01の機械を導入し、小児科・呼吸器内科を中心に検査を行っています。

MostGraph-01とは主に気管支喘息患児に対して行われる呼吸機能検査です。

気管支喘息の治療を適切に進めていくためには、喘息の病態である気道の慢性炎症、気道過敏性、気流制限という3つを客観的に評価することが必要になってきます。

客観的指標としてはスパイロメトリーなどに加えて、気道の状態を中枢気道から末梢気道にかけて評価可能な強制オシレーション法があります。

強制オシレーション法とはスパイロメトリーのように努力呼吸により患者への負担が大きくなる検査に反し、マウスピースを口にくわえて普段の呼吸をしているだけで測定ができるので、小さなお子さんでも気軽に検査をすることができます！

上記の強制オシレーション法の一つである広域周波オシレーション法を原理とする測定機器がMostGraph-01なのです！

特徴として、呼吸抵抗の経時的な変化を色つきのグラフで表示できるので小さなお子さんでも楽しみながら検査することができ、呼吸抵抗の変動パターンは疾患によって異なるほか、治療に伴い変化していくのでお父さん、お母さんが見ても視覚的に結果がわかるようになっています。

また、喘息患者に気管支拡張薬を投与すると、呼吸抵抗が減少することが分かるので、薬剤の効果を確認する際にも役立つことがわかっています。

しかし、導入している医療機関は増加しているものの、まだ少数であるため、基準値が十分に提示されていないことと、適切な測定条件がまだ確立していないため臨床応用まで至っていない医療機関がほとんどなのが現状です。しかし、操作は簡単な上に得られる情報量も多いのでこれからの活躍に期待ですね！

MostGraph-01による検査は70点の算定でしたが平成24年の保険診療報酬改定で150点に引き上げられた事が普及させる要因になりました。

●広域周波オシレーション法による呼吸機能測定結果の3Dカラーグラフ(MostGraph-01)

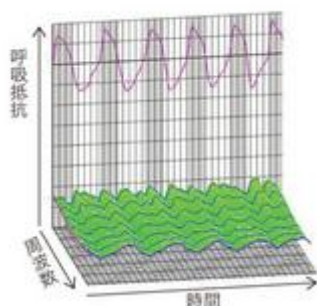


図1：(健常者)

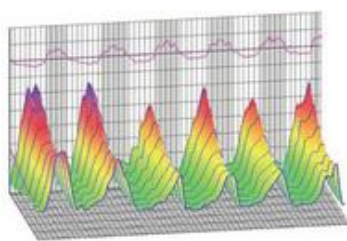


図2：(COPD患者)

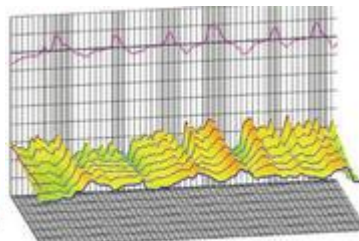


図3：(喘息患者)

実習生が来ます

12月7日(月)より約3ヶ月間埼玉県立大学より2名の学生が実習に来ます。2人とも臨床検査技師をめざし、猛勉強中です。各部署で大変お世話になりますが、よろしくお願ひします。

最近急に寒くなってきました。

手洗い・うがいをしっかりして体調管理に気をつけましょう！

発行人：猪浦 一人

編集委員：関塚、竹内、成田、猪浦

